

平成 19 年 11 月 19 日

## 定期検査中の 6 号機における燃料交換機の不具合について

6 号機は定期検査中ですが、平成 19 年 11 月 18 日午前 4 時頃、原子炉内への燃料装荷作業において、燃料を吊っていない状態で燃料交換機の主マスト\*を巻き上げていたところ、主マストの不具合を示す信号が発生し、燃料交換機が自動停止しました。

燃料装荷作業を中断し調査を行ったところ、主マストの下端にある燃料つかみ具に駆動用空気を送るホースの巻き取り装置内にあるバネが伸縮しなくなっており、ホースが正常に巻き取られていないことがわかりました。

このため、当該巻き取り装置の交換を行い、燃料交換機の機能が健全であることを確認し、11 月 19 日午前 1 時 50 分頃、燃料装荷作業を再開しました。

主マストの不具合を示す信号が発生した原因は、巻き取り装置内のバネが伸縮しなくなったことによりホースが正常に巻き取られず、主マストの位置を検出するスイッチに接触したため、当該スイッチが誤動作したものと推定しました。

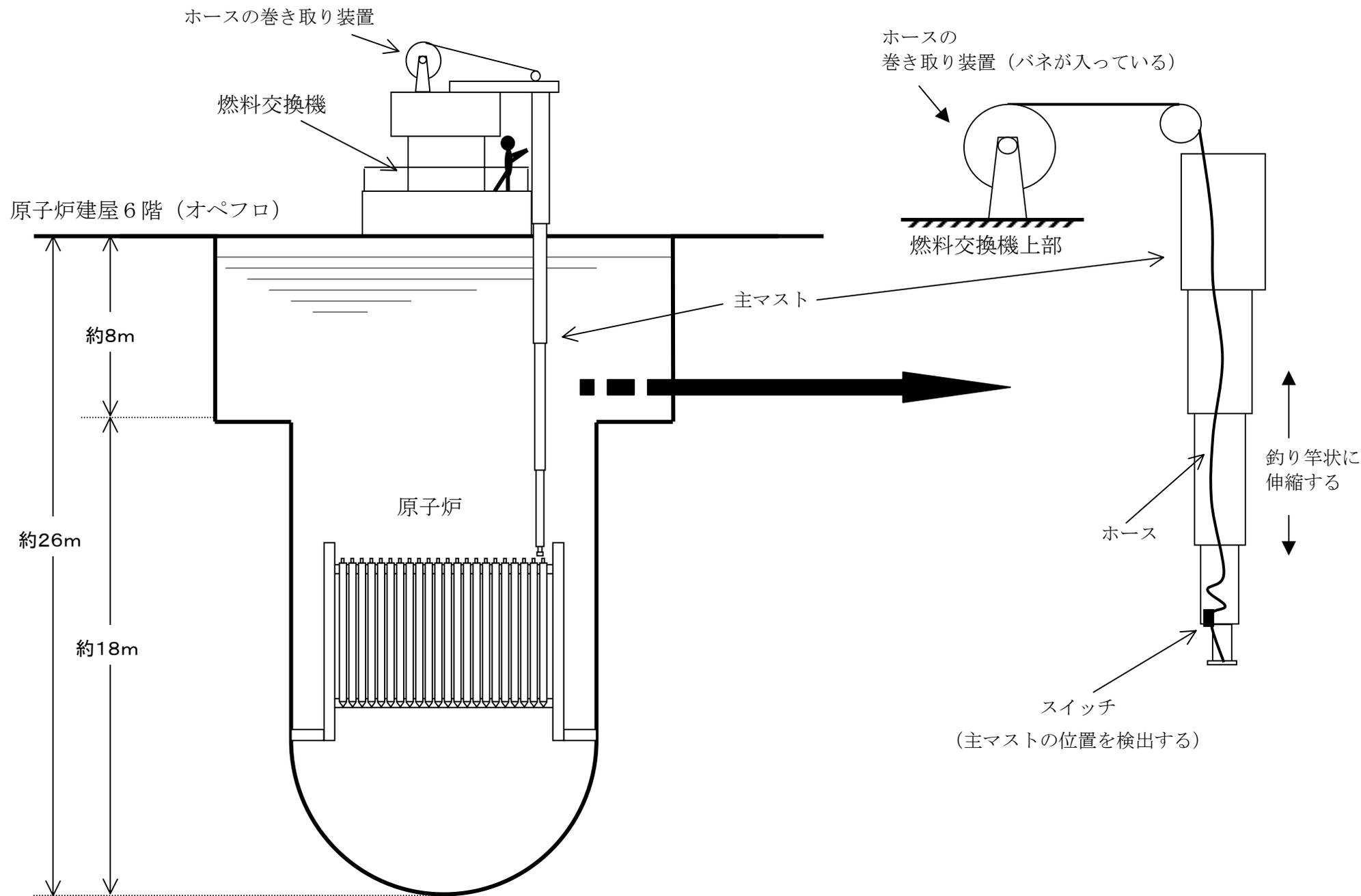
今後、原因について調査します。

本事象による外部への放射性物質による影響はありません。

以 上

\* 燃料交換機の主マスト

燃料移動の際に使用する燃料つかみ具を昇降させるための部品。



燃料装荷作業の概要と主マストの不具合信号発生時の状況概略図